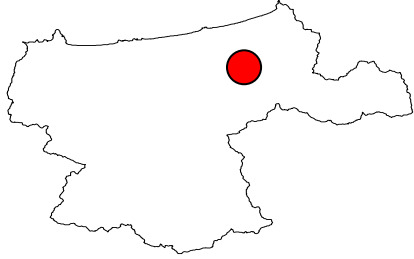


平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	「まちなか」と「中山間地域」の老人世代交流事業
対象地域	鳥取県 鳥取市 遷喬地区
対象地域の概要	  【位置図】 鳥取市 【鳥取市遷喬地区】 ・鳥取市中心市街地に位置する。 26 町内会 846 世帯で鳥取市中心市街地の大部分を占めている
提案内容の概要	まちなかの人的資源を結集する自前のコミュニティ施設（セルフビルド型寄り合い拠点）の整備を行い、そこを拠点に「まちなか」と「中山間地域」の住民との交流を開始する。また、商店街においては、<u>朝市を恒常化することにより中山間地生産者との積極的な交流（元気をもらい、元気を与える）を進める。</u>
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	地域の活力は、住民の日常生活にある不満と不安が重なり合う時に、その解消に向けて住民が動き出すことで自治体は触発され、原因を確かめる糸口や手がかりを地域全体に求める事から具体的な取り組みが始まり、色々な活動や運動となって現出してくる。 地方自治体の財政逼迫が行政のシステムを硬直化してしまい、地域住民は将来に対する不安を一層募らせている。地域の不満を解消することこそ、地域に元気を取り戻す最良の試みである。元気の三要素は、1に知恵と経験、2に確かな判断力、3に持続する意志であり、これを推進する主力メンバーは、年齢層が50代後半から60代そして70代前半の方々である。 このことは「まちなか」でも「中山間地域」でも共通している。 そこで、「まちなか」と「中山間地域」が積極的に交流し、知恵を絞っていくことでお互い元気をもらい、元気を与える活動を推進する。
(2) 活動内容の案	活動①：「まちなか」と「中山間地域」の人的資源を結集する自前のコミュニティ施設の整備 内容： 「まちなか」と「中山間地域」において急速に少子高齢化が進む中で、「まちなか」では退役したが働く余力のある人的資源は増加している。一方「中山間地域」では人口の減少が著しく、集落を維持することさえ困難になっている。そこで、「まちなか」の働く余力のある人的資源を結集し、そこを拠点に「まちなか」と「中山間地域」の住民との交流を開始して双方が自立的事業を展開できるような方法の確立を目指す。 活動②：朝市の恒常化 内容： 現在の朝市は遷喬地区新町通商店街振興組合が自発的に活動を始め、昨年組合が解散した後も有志により毎月1回続けて行われている。遷喬地区住民からの支持は高く、「中山間地域」生産者との交流を通じ、特別栽培農産物等の販売取り扱いを要請する等出店品目、出荷引き受け量を増すことにより毎週1回朝市を開催してまちの「にぎわい」を再生する。 活動③：まちなか大学の開催

	内容 ： 「まちなか」と「中山間地域」の交流の過程に於いて「まちなか大学」を開催し、それぞれの地域のまちづくりについての問題点と課題、その解決策についてワークショップ、講演会を開催する等住民の意識高揚を図る。
応 募 団 体 名	特定非営利活動法人ラーバンマネジメント
リ ン ク	http://rurban-p.sakura.ne.jp/npo.rurban-p.com/index.html
部 局 ／ 担 当 者 名	事務局： 理事 中野敬教
連 絡 先	0857-37-0257
推 薦 市 町 村 名	鳥取市